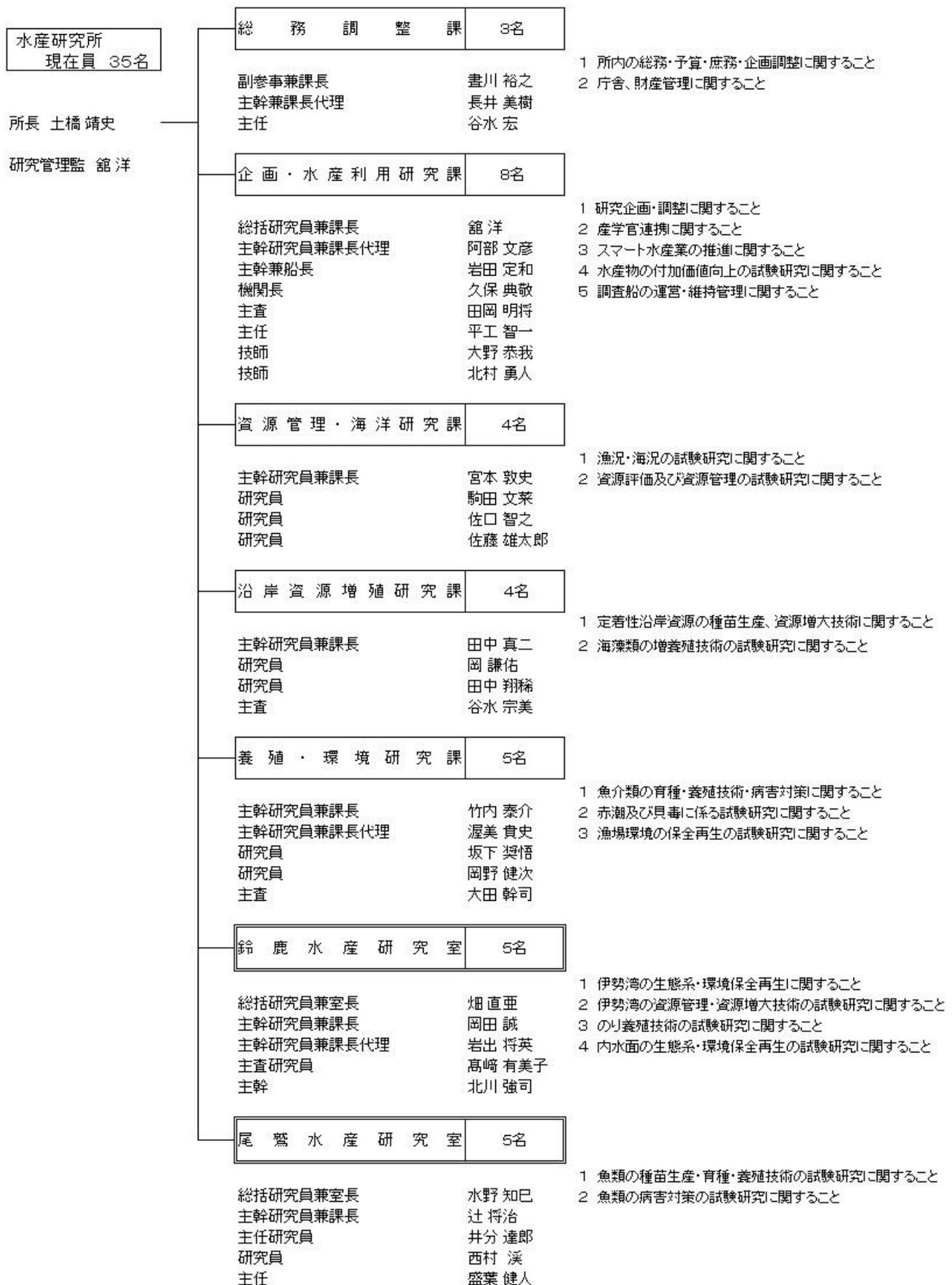


総務に関すること

令和6年度 水産研究所組織体制と事務分掌



県単試験研究費

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●水産関係県単経常試験研究費			
① イセエビ資源安定化技術開発事業	イセエビのプエルルス幼生の来遊量と漁獲への加入資源量の関係を把握し、イセエビ資源管理の高度化を図るとともに、稚エビを放流サイズまで安定飼育する技術を開発することにより、イセエビ資源の安定化に資する。	沿岸資源増殖研究課	R5~R7
② 志摩海域養殖漁場環境調査	英虞湾および的矢湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、アコヤ養殖環境情報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市委託】。	養殖・環境研究課	R5~
③ 内水面漁場環境調査事業	内水面漁業において最も重要な魚種であるアユを対象に、餌料環境調査、冷水病等の魚病およびカワウによる食害防止対策の情報収集と普及に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
④ 養殖魚の新しい疾病防除技術開発	養殖マダイのエドワジエラ症に対し、体表プロバイオティクスを用いた疾病防除技術を開発する。また養殖マハタのハダムシ症対策として、虫卵の付着特性に着目し、効率的かつ簡便な駆除手法を開発する。	尾鷲水産研究室	R5~R7

競争的資金等外部資金

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・水産利用研究課	H17~
② 志摩市沿岸藻場調査事業	志摩市沿岸における藻場減少による沿岸漁業の漁獲量減少に対応するため、仕切り網を用いた植食性魚類の防除による藻場回復効果を検証するとともに、藻場減少海域でも比較的漁獲が維持されているサザエの種苗放流効果を調査する【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	R5~
③ ブルーカーボン貯留量の自動計測システムの開発による漁村の脱炭素・収益向上に向けた取り組みに関する研究	漁船にカメラを取り付けて海中画像データを収集し、海藻の繁茂状況と種類を算出することで、ブルーカーボンの貯留量を自動計測する仕組みを産学官の共同により開発する。水産研究所は、海藻の種類ごとの炭素貯留量の把握に取り組む【情報通信研究機構委託】。	沿岸資源増殖研究課	R4~R6
④ 青のり養殖に関する技術開発事業	志摩市の重要産業であるヒトエグサの養殖について、安定生産につながる養殖技術の高度化に係る試験研究を行う【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29~R6
⑤ みえの貝類養殖における海洋酸性化に関する調査研究事業	近年、世界的な規模で海洋酸性化が進み、貝類養殖への影響が懸念されていることから、三重県のカキやアコヤガイ養殖漁場における海洋酸性化に関する調査を行い、海洋酸性化への効果的な適応策と実践体制の提案につなげる【日本財団委託】。	養殖・環境研究課	R5~R6
⑥ 鳥羽海域カキ養殖漁場環境調査事業	鳥羽海域のカキ養殖漁場において、漁場環境をモニタリングするとともに、得られた環境情報を養殖業者等に提供することにより、漁業被害の未然防止や軽減を図る【鳥羽市委託】。	養殖・環境研究課	R3~

競争的資金等外部資金(続き)

⑦ 漁場環境改善推進事業	黒ノリを用いた伊勢湾における窒素供給源の把握及び伊勢湾におけるアサリの餌料環境の把握を行う【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	R4～R8
⑧ (新規)画期的形態異常防除技術を用いたハタ類の低コスト養殖技術開発事業	マハタの形態異常率(脊椎骨屈曲)を低減し、生産コストを削減するため、水産技術研究所等とともにマハタの種苗生産・養殖工程で新たな形態異常防除技術(鰓の開腔技術)、増肉改善技術の実証試験を行う【生物系特定産業技術研究支援センター委託(事業申請中)】。	尾鷲水産研究室	R6～R8
⑨ マハタ優良種苗生産研究事業	マハタの優良種苗生産のため、形態異常の原因となる未開鰓個体の早期除去方法の開発、中間育成以降における形態異常の発生要因の解明、耐病性マハタの育種技術の開発に取り組む【水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	R6
●資源評価調査事業費 ① 資源評価調査事業	日本周辺および本県沿岸における重要水産資源の資源評価や資源動向の予測、最適な資源管理手法の検討のため、国や関係都道府県と連携して、海洋環境や漁獲実態等の調査を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課/沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H12～
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類は国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H13～
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費 ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。	養殖・環境研究課	R5～

管理費等

事業名	事業概要	担当	実施年度
●水産業試験研究管理費 ① 水産業試験研究管理費	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	R5～R7
●水産業研究施設機器整備費 ① 水産業研究施設機器整備費	海洋観測や水産資源調査を行う漁業調査船「あさま」の老朽化に伴う新船の建造等、水産研究所の施設や機器の整備を行う。	総務調整課	R6

水産振興課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業3-4-1) 食品と生活衛生営業施設等の衛生確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費			
① 養殖衛生管理体制の整備	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室	R5~R7
② 水産物の安全の確保	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	R5~R7
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●真珠産業における生産から販売までオール三重体制強化事業費			
① 真珠産業における生産から販売までオール三重体制強化事業	県産真珠の生産量の増大に向け、アコヤガイ稚貝を秋季に供給し、生存率の向上やへい死のリスク分散を図る。	養殖・環境研究課	R5~R7
●気候変動に適応する強靱な新養殖事業費			
① 気候変動に適応する強靱な新養殖事業	気候変動に伴う高水温化に対応した養殖業の構築に向け、高水温に強いアコヤガイ品種や高水温に適応したカキの養殖管理技術の開発、マハタの免疫機能を強化する飼料や、水温情報と遺伝子検査を活用した青ノリの天然採苗技術の開発に取り組む。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室/沿岸資源増殖研究課	R4~R6
●黒ノリの色落ち緊急対策事業費			
① 黒ノリの色落ち緊急対策事業	伊勢湾の基幹産業である黒ノリ養殖において、栄養塩類不足による色落ち被害が深刻化していることから、施肥による色調改善や生育促進に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R5~R7
●漁場生産力向上対策事業費			
① 漁場生産力向上対策事業	伊勢湾における漁業生産力の強化に向け、流域下水処理場で行う栄養塩類管理運転の効果把握調査を実施するとともに、伊勢湾の持続的な生物生産に必要な対応策を検討する。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
●環境変化に対応するノリ品種の作出・普及事業費			
① 環境変化に対応するノリ品種の作出・普及事業	三重県水産研究所が保有するノリ保存株を用いた選抜育種による高生長品種の作出に取り組み、養殖漁場における実証試験を実施し、高生長品種の普及を図る。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
●藻類養殖の適正化対策事業費			
① 藻類養殖の適正化対策事業	漁場別の食害生物の把握と防除方法を検討する。県漁連や漁協が養殖業者と連携して実施する食害の防除活動に対する支援、共同加工体制の導入に向けた生ノリ保存・加工技術の開発を行う。	鈴鹿水産研究室	R4~R8
●「シン層飼育」による持続可能な魚類養殖の実証事業費			
① (新規)「シン層飼育」による持続可能な魚類養殖の実証事業	気候変動に伴う高水温化により増加している魚病被害の軽減等を図るため、水温が低い、深い水深での魚類養殖技術の確立に取り組む。	尾鷲水産研究室	R6~R8
●新魚種導入による魚類養殖の生産性向上事業費			
① 新魚種導入による魚類養殖の生産性向上事業	魚類養殖の経営改善や新たなブランド魚の創出による地域活性化に向け、養殖期間が短く、付加価値が高いマサバの養殖技術の開発に取り組む。	尾鷲水産研究室	R5~R7
(基本事業6-3-2) 多様な担い手の確保・育成と競争力の強化			
●水産業スマート化推進事業費			
① 水産業スマート化推進事業	漁業者、水産関係団体、大学、企業等と連携して、漁業の生産性や作業効率の向上、働き方改革につながるスマート水産業の社会実装を促進する。	企画・水産利用研究課	R5~R7

水産資源管理課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-1) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築			
●環境変化に対応した海女漁業推進事業費			
① (新規)環境変化に対応した海女漁業推進事業	海女漁業が高水温化などの環境変化による資源減少に対応して存続できるように、サザエおよびサガラメの種苗生産やアワビの放流等の技術開発に取り組む。	沿岸資源増殖研究課	R6～R8
●イカナゴ等重要資源調査・種苗生産事業費			
① イカナゴ等重要資源調査・種苗生産事業	漁獲量が低迷している伊勢湾のイカナゴの資源回復に向け、親イカナゴ資源の現況調査および他海域の親イカナゴを用いた採卵技術の開発と種苗生産試験を実施する。また、イカナゴ以外の重要水産資源の資源評価と、その結果を基にした資源管理のブラッシュアップに取り組む。	鈴鹿水産研究室/尾鷲水産研究室	R4～R8
●アサリ等二枚貝類資源の回復対策事業費			
① アサリ等二枚貝類資源の回復対策事業	種苗生産したハマグリを放流効果をもとめ、放流技術の向上や放流効果を的確に把握するための調査研究に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R4～R8

水産基盤整備課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
(基本事業6-3-3) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築			
●県単沿岸漁場整備事業費			
① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査	浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の蛸集状況等を調査する。	資源管理・海洋研究課	H24～
② イセエビ増殖礁の資源加入機能強化技術開発調査	イセエビのプエルルス幼生の着底基質及び稚エビへの餌料生物供給の役割を果たす藻場が減少しているため、人工海藻の設置によるプエルルス幼生着底促進技術を開発するとともに、稚エビの餌料生物の付着を促す基質を探索する。	沿岸資源増殖研究課	R5～R7
③ かぶせ網を用いたアワビ中間育成技術の開発	放流アワビ種苗の食害による初期減耗を防止するため、かぶせ網を用いた新たな中間育成技術を開発する。	沿岸資源増殖研究課	R4～R6
④ 藻場モニタリング事業	定期的な藻場のモニタリング調査により、藻場の増減の状況を把握するとともに、環境要因等との関係を解析し、藻場造成のための基礎的知見を得る。	沿岸資源増殖研究課	R3～
⑤ 伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業	アサリ稚貝場において、地形や底質の現状を把握し、波浪や出水などの自然環境がアサリ稚貝に与える影響を検証することにより、稚貝着底の不安定要因を抽出する。	鈴鹿水産研究室	R6